

盛岡市防災マップの作成について

平成 30 年 3 月 7 日

総 務 部

1 作成目的

災害が発生したときに、自分自身と家族の身を守るよう、普段から災害に対する準備を行うとともに、災害に関する知識を正しく理解し、適切かつ安全に避難行動をとるための手引きとして作成するものです。

2 主な仕様

地域名	仕 様 規 格	主な構成 (表紙, 裏表紙含む)			印刷部数
		情報学習面	地 図 面		
盛岡地域版	A4 判冊子	68 ページ	13 ページ	53 ページ	174,000 部
玉山地域版	7カラー4色刷	64 ページ	(共通)	49 ページ	6,000 部

3 防災マップの構成

(1) 情報学習面

- ア STEP 1 :【備える】災害に対して、事前に準備する
- イ STEP 2 :【学ぶ】避難に関する情報、その確認方法を学ぶ
- ウ STEP 3 :【考える】災害が発生しそうなときの避難の方法を考える

(2) 地図面

- ア 防災マップ (縮尺 1/12,000~24,000)
 - ・ 洪水浸水想定区域, 土砂災害警戒区域等, 避難場所及び避難所
- イ 内水ハザードマップ (縮尺 1/7,000)

4 周知・活用方法

- (1) 配布の対象 全世帯 (約 13 万 5 千世帯) への配布
- (2) 説明会の実施 全地域を対象に「防災マップ使い方説明会」を実施
- (3) その他の活用 地域行事 (防災訓練) や学校等での防災教育で活用

5 今後のスケジュール

- (1) 関係機関等へ意見照会 平成 30 年 6 月中旬
- (2) 全世帯へ配布開始 平成 30 年 8 月～

※ 県管理河川の築川, 松川及び北上川 (四十四田ダム上流) の洪水浸水想定区域の公表を反映し, 完成となります。

盛岡市

防災マップ



キケンを確認 家族でつくる 我が家の防災計画

盛岡版



2018
年度
保存版

まえがき・本書の使い方	01	地震災害	09
STEP1…備える	02	火山災害	10
STEP2…学ぶ	03	避難場所・避難所一覧	11～13
STEP3…考える	04	防災マップ(洪水・土砂災害)	14～64
風水害・土砂災害	05～06	防災マップ(内水氾濫)	65～66
洪水時の避難行動ガイド	07～08		

まえがき

私たちは、山々に囲まれ、北上川、雫石川、中津川など大きな河川のそばで暮らしています。豊かな自然に育まれている反面、地震や大雨、岩手山の火山活動などの自然現象による様々な災害の発生が考えられます。

このような災害から身を守るためには、生活の場や家族構成などを考慮し、災害の種類や危険性に応じた避難などの行動が必要です。

本書は、「自分の身は自分で守る」ことを基本に、私たちが自分たちにあった防災対策をとるために、

家族や自分の情報を確認し、避難の方法を考え、事前に準備する

ための防災ガイドブックとして、使っていただけるよう作成しました。

自宅などにおける災害の危険性や避難する場所を確認し、災害に備えましょう。

本書の使い方

3つのステップで避難などについて考えます。

自然災害から身を守るために、避難などについて次の3つのステップで考えます。

ステップ3では、風水害・土砂災害、地震災害、火山災害について災害ごとに考えます。

STEP 1 備える

災害に対して、事前に準備する



1. 家族の情報、非常持ち出し品

■家族の情報

家族の連絡先や、アレルギー、持病などの情報は、避難の際に重要な情報です。災害に備えて家族の情報を書き留めておきましょう。

名前	連絡先(勤務先・学校)	電話番号	生年月日	血液(Rh)	アレルギー・持病	その他
(例)盛岡太郎	盛岡商事	000-000-0000	S60.9.1	A(+)	なし	〇〇の薬は常備

■いざというときの連絡先

友人や親せき、病院などの連絡先を書き留めておきましょう。

名称	電話番号	備考	名称	電話番号	備考
(例)都南花子	000-000-0000	青森の叔母	(例)玉山病院	000-000-0000	太郎のかかりつけ医

■非常持ち出し品

避難が必要になった場合に備えて、非常持ち出し品を準備しましょう。どこに置か、誰が持ち出すかを決めておくことも大切です。

- 身につけるもの**
 - ヘルメット・防災ずきん 厚底の靴 軍手
 - マスク ホイッスル
- ポーチなどにまとめるもの**
 - 現金 預金通帳の写し 身分証明書・健康保険証の写し
 - 常備薬・お薬手帳・処方箋の写し 救急絆創膏 消毒薬
- その他、必要なもの >>
- リュックに入れておくもの**
 - 飲料水 (500ml 家族各人1本ずつ) 携行食 (ビスケット・チョコレート・バナナ栄養食)
 - 携帯ラジオ 懐中電灯 多目的ナイフ
 - 筆記用具・メモ帳 ビニール袋・ポリ袋 現金(小銭)
 - ティッシュ・ウェットティッシュ 防寒具・雨具・携帯カイロ 携帯電話・充電器・モバイルバッテリー
- その他、必要なもの >>

■備蓄品

災害時に自宅で過ごす際に必要となる食料などを準備しましょう。最低でも3日、出来れば1週間分を目安に備蓄しておきましょう。

- 食料・飲料水**
 - 飲料水 乾パン・クラッカー・缶詰
 - インスタント・レトルト食品 無洗米・アルファ化米
- 生活用品**
 - カセットコンロ ロープ
 - ガスカートリッジ 災害用簡易トイレ
 - ブルーシート ランタン・照明用品
- 家族構成により必要なもの**
 - おむつ・離乳食・乳児用ミルク
 - 衛生用品・生理用品
- ペット関係**
 - エサ(ドッグフード・キャットフードなど)
- その他、必要なもの >>

STEP 1 備える P2

災害に対して、事前に準備する

家族などの情報の整理・確認

非常時の持ち出し品・備蓄品の準備



避難等に備えて、今のうち(平常時)から準備しておくべきことを確認します。

STEP 2 学ぶ P3

避難に関する情報、その確認方法を学ぶ

避難情報の種類、意味

避難場所などの種類

避難に関する情報の確認方法



市から発信する避難に関する情報の種類や内容の伝達方法など、知っておきたい事柄を学びます。

STEP 3 考える P4

災害が発生しそうなときの避難の方法を考える

自宅などの場所を確認

災害が発生した場合の影響を確認

避難のタイミング、安全な避難場所など、避難ルートを確認



自宅や避難場所などを防災マップで確認し、災害の危険性や避難のタイミングなど、避難方法を考えます。

学ぶ

避難に関する情報、その確認方法を学ぶ



1. 市から発信する避難情報

避難情報は、災害の状況に応じて市が発令します。普段から避難情報の種類と、避難の方法について確認し、発令された場合には慌てず行動しましょう。

情報の種類	発令時の状況	避難の方法
避難準備・高齢者等避難開始	避難勧告や避難指示(緊急)を発令することが想定される場合	<ul style="list-style-type: none"> ●いつでも避難できるように準備する。身の危険を感じる人は避難を開始する。 ●避難に時間を要する人(高齢者の方、障害のある方、乳幼児のいる方など)は避難を開始する。
避難勧告	災害による被害が予想され、人的被害が発生する可能性が高まった場合	<ul style="list-style-type: none"> ●避難場所等へ避難する。 ●地下やアンダーパスなど低地から速やかに退避する。
避難指示(緊急)	災害が発生するなど状況がさらに悪化し、人的被害の危険が非常に高まった場合	<ul style="list-style-type: none"> ●まだ避難していない場合は、ただちにその場から避難する。 ●外出することでかえって身の危険が及ぶような状況では、自宅内のより安全な場所に避難する。

2. 避難場所、避難所の情報

災害発生時の避難先には、「指定緊急避難場所」と「指定避難所」の2種類があります。市は避難情報を発令する際、その災害からできるだけ早く安全を確保できる場所を避難所として開設します。市が避難所を開設していないところへ自主的に避難したときは、市に連絡をお願いします。

指定緊急避難場所	災害発生、又は発生するおそれがある場合にその危険から逃れるための避難場所として、災害の種類ごとに安全性が確保される施設、又は場所。
指定避難所	避難した住民等を災害の危険性がなくなるまでに必要な間滞在させ、又は災害により家に戻れなくなった住民等を一時的に滞在させるための施設。指定緊急避難場所と兼ねている場合があります。

※避難場所などの確認は、P11～P13の「避難場所・避難所の一覧」をご覧ください。

3. 避難情報などの確認

避難情報はいろいろな方法で伝えます。災害の危険性があるときには、避難などに関する情報を確認しましょう。

テレビラジオ	テレビやラジオでは、災害の発生状況や、避難などに関する情報が放送されます。 NHKのデータ放送 地上デジタル放送をご覧の方は、リモコンのdボタンを押すだけで、気象情報や重要な河川の水位なども確認できます。 ラヂオもりおかの自動割込み放送(盛岡地域のみ) 緊急時には、通常の放送に割込みを行い、避難情報などを提供しています。また、防災ラジオは、割込み放送を行います。	防災行政無線 防災行政無線(玉山地域のみ) 防災情報などを住民の方々に伝えるために市が整備した無線です。屋外に設置しているスピーカーで伝えます。	スマートフォン
	携帯電話	緊急速報メール 気象庁が配信する「緊急地震速報」、「特別警報」、市などが配信する「災害・避難情報」などを、対象エリアの携帯電話に自動で送信します。	
インターネット ・パソコン ・携帯電話 ・スマートフォン	いわてモバイルメール(登録・登録無料) 市では、県が運用している「いわてモバイルメール」を活用し、気象情報や避難情報など災害に関する情報を携帯電話やスマートフォン、パソコンへメール配信を行っています。 http://www.pref.iwate.jp/seisaku/jouhouka/mobilemail/index.html	いわて防災情報ポータル 県で発表している緊急情報や災害対応状況、県内の気象情報や避難情報など、県内の情報を確認することができます。 http://iwate.force.com	スマートフォン
	防災関連アプリ スマートフォンやタブレットをお使いの方は、アプリストアで「防災」で検索すると、気象警報や防災情報などを通知する便利なアプリをインストールできます。(例:Yahoo!防災速報、NHKニュース防災アプリ、IBCつながるアプリなど)	盛岡市ホームページ 市で発表している避難情報や避難場所等の情報など、市の災害に関する情報を確認することができます。 http://www.city.morioka.iwate.jp	

※このほか、市で避難情報を発令したときには、消防署、消防団でも現地で広報活動を行います。

考える

災害が発生しそうなときの避難の方法を考える



1. 盛岡市で想定される災害

盛岡市では、次のような災害の発生が考えられます。



風水害

大雨により川が氾濫したり、下水道で処理きれない水があふれ、家屋などが浸水する可能性があります。また、強風により屋根や看板などが飛ばされたりします。



土砂災害

大雨や地震などにより土石流やがけ崩れ、地すべりなどが発生します。土石流やがけ崩れは谷や崖の上から土砂が押し寄せ、家屋などを押しつぶす危険な現象です。地すべりは地面が広い範囲にわたりゆっくり動き出すもので、被害範囲が大きくなります。



地震災害

市の西部にある活断層が活動した場合、最大で6強の震度が想定されています。古い建物が倒壊したり、川の近くなどの低地では液状化現象が起こることもあります。



火山災害

市では、岩手山の噴火による降灰と火山泥流の発生が想定されています。降灰は、風下側に火山灰などが堆積します。火山泥流は、積雪時に噴火によって雪が融かされて大量の水が発生し、周辺の土砂や岩石を巻き込みながら流下する現象です。

2. 災害の危険性を確認

防災マップを見て、自宅や学校、職場などの位置を探します。災害の危険性を確認し表へ記入しましょう。

生活の場所	自宅	学校・職場	災害の危険性の確認のしかた	ページ
家屋倒壊等の危険性	<input type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし	<input type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし	赤線の囲みで表示。家屋倒壊等の危険性があり、早期の立退き避難が必要です。	
洪水	<input type="checkbox"/> ~0.5m <input type="checkbox"/> 0.5m~3m <input type="checkbox"/> 3m~5m <input type="checkbox"/> 5m~10m <input type="checkbox"/> 10m~ <input type="checkbox"/> 区域外	<input type="checkbox"/> ~0.5m <input type="checkbox"/> 0.5m~3m <input type="checkbox"/> 3m~5m <input type="checkbox"/> 5m~10m <input type="checkbox"/> 10m~ <input type="checkbox"/> 区域外	洪水深ごとに色分けで表示。着色された範囲に自宅などがあるか確認しましょう。	14 5 64
避難場所			上記で洪水の危険がある場合には、一覧から「洪水」に○がある近くの避難場所を確認しましょう。	11 5 13
土砂災害	<input type="checkbox"/> 土石流 <input type="checkbox"/> がけ崩れ <input type="checkbox"/> 地すべり <input type="checkbox"/> 区域外	<input type="checkbox"/> 土石流 <input type="checkbox"/> がけ崩れ <input type="checkbox"/> 地すべり <input type="checkbox"/> 区域外	土砂災害の種類ごとに着色などで表示。自宅などがあるか確認しましょう。	14 5 64
避難場所			上記で土砂災害の危険がある場合には、一覧から「土砂」に○がある近くの避難場所を確認し、左の表へ記入しましょう。	11 5 13
地震災害	<input type="checkbox"/> 4 <input type="checkbox"/> 5弱 <input type="checkbox"/> 5強 <input type="checkbox"/> 6弱 <input type="checkbox"/> 6強	<input type="checkbox"/> 4 <input type="checkbox"/> 5弱 <input type="checkbox"/> 5強 <input type="checkbox"/> 6弱 <input type="checkbox"/> 6強	想定される最大震度ごとに色分けで表示。最大震度を確認しましょう。	9
避難場所			地震発生時に家屋倒壊などの危険があり自宅などに留まることができない場合の避難先として、一覧から「地震」に○がある近くの避難場所を確認しましょう。	11 5 13
火山災害	<input type="checkbox"/> ~10cm <input type="checkbox"/> 10cm~20cm <input type="checkbox"/> 20cm~30cm <input type="checkbox"/> 30cm~	<input type="checkbox"/> ~10cm <input type="checkbox"/> 10cm~20cm <input type="checkbox"/> 20cm~30cm <input type="checkbox"/> 30cm~	岩手山が噴火した場合の降灰の厚さを同心円で表示。降灰の厚さを確認しましょう。	10
降灰の厚さ				
火山泥流の危険性	<input type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし	<input type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし	岩手山の噴火による火山泥流の到達範囲を青色で表示。自宅などがあるか確認しましょう。	
避難場所			火山泥流の危険性がある場合には、一覧から「火山」に○がある近くの避難場所を確認しましょう。	11 5 13
近くの避難所			災害の発生後、自宅などに戻ることができなくなった場合、一時的に滞在するための施設となります。一覧から「指定避難所」に○がある近くの避難所を確認し記入しましょう。	11 5 13

風水害・土砂災害

■ 気象情報 (警報など)

気象庁による気象情報 (警報など) に注意し、早めの避難を心がけましょう。

警報、情報等		発表基準
大雨	注意報	大雨により災害が起こるおそれがあると予想される場合に発表する予報
	警報	大雨により重大な災害の起こるおそれがあると予想される場合に発表する予報
	特別警報	大雨により重大な災害の起こるおそれが著しく大きいと予想される場合に発表する予報
洪水	注意報	洪水により災害が起こるおそれがあると予想される場合に発表する予報
	警報	洪水により重大な災害の起こるおそれがあると予想される場合に発表する予報
土砂災害警戒情報		大雨による土砂災害発生危険度が高まったとき、市町村長が避難勧告等を発令する際の判断や住民の自主避難の参考となるよう、都道府県と気象庁が共同で発表する防災情報
記録的短時間大雨情報		大雨警報が発表されている時に、数年に1回程度発生する激しい短時間の大雨を観測、または解析したことを発表する情報

出典：国土交通省 水害ハザードマップ作成の手引き

■ 洪水、内水氾濫

洪水 (外水氾濫) と内水氾濫の発生するしくみを理解し、避難場所などまでの安全な避難に役立てましょう。

洪水 (外水氾濫) の発生

雨が激しく降ると、川の水が溢れ出したり、堤防の決壊により洪水 (外水氾濫) が発生します。



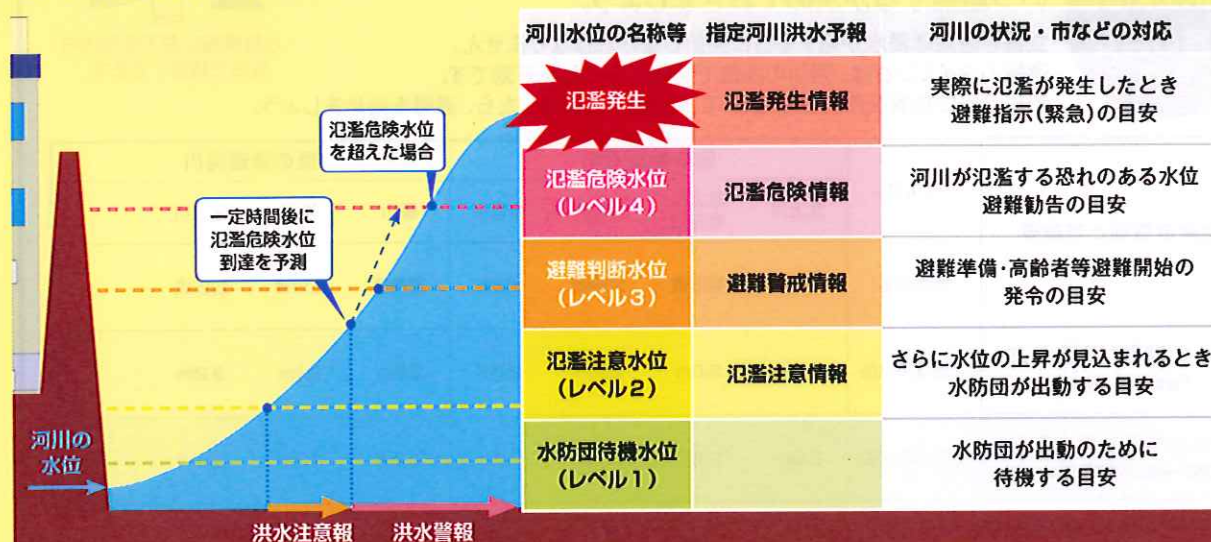
内水氾濫の発生

大雨が降り、排水能力が雨量に追いつかない場合に、内水氾濫が発生します。



■ 河川の洪水予報 ※北上川 (四十四田ダム下流)、栗石川、中津川が対象です

川の水位が上昇し、洪水のおそれがあるとき、気象庁と国土交通省が共同で河川の洪水予報を発表し、報道機関などを通じてお知らせします。河川の氾濫情報は危険に応じて、水位名称と合わせて伝達されます。



出典：気象庁 <http://www.jma.go.jp/jma/kishou/known/bosai/flood.html>

■ 土砂災害の種類と前兆現象

土砂災害は、大雨や雪どけ水、地震などによって起こります。自宅などが土砂災害危険箇所や土砂災害警戒区域などに入っていないかどうか確認しましょう。

がけ崩れ (急傾斜地の崩壊)



雨や雪どけ水、地震などの影響により斜面が急激に崩れ落ちる現象です。突発的に起こり、崩れ落ちるスピードが速いのが特徴です。

- 前兆現象
- ・がけに亀裂が入る
 - ・がけからの水が濁る
 - ・小石がバラバラ落ちる

土石流



土砂や石が水と一緒に激しく流れ下る現象で、大雨や地震による土砂崩れなどによって起こります。時速は20～40kmにもなります。

- 前兆現象
- ・急に川の流れが濁り、流木が混ざっている
 - ・雨が降り続けているのに、川の水位が下がる
 - ・地震の後、川の水位が下がる

地すべり



ゆるやかな斜面の粘土のような地層に雨水などがしみ込んだ影響などにより、地面が動き出す現象です。広範囲で起こるのが特徴です。

- 前兆現象
- ・斜面から水が吹き出す
 - ・地面に亀裂、段差ができる
 - ・樹木が倒れる

■ 土砂災害危険箇所や土砂災害警戒区域など

県では、がけ崩れ (急傾斜地の崩壊)、土石流、地すべりが発生するおそれのある箇所を土砂災害危険箇所として公表しています。土砂災害危険箇所のうちから、土砂災害警戒区域及び土砂災害特別警戒区域を指定しています。

土砂災害警戒区域 (イエローゾーン)

がけ崩れ (急傾斜地の崩壊) などが発生した場合に、住民等の生命又は身体に危害が生じるおそれがあると認められる区域であり、危険の周知、警戒避難体制の整備が行われます。

土砂災害特別警戒区域 (レッドゾーン)

がけ崩れ (急傾斜地の崩壊) などが発生した場合に、建築物に損壊が生じ住民等が生命又は身体に著しい危害が生じるおそれがあると認められる区域で、特定の開発行為に対する許可制、建築物の構造規制等が行われます。

■ 土砂災害警戒判定メッシュ情報

気象庁では、雨の降り方などから土砂災害の危険度とその範囲を随時お知らせしています。土砂災害警戒区域などにお住まいの方は、危険度の高まりに応じて少しでも安全な場所へ避難しましょう。

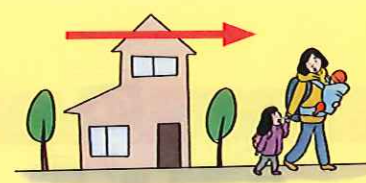
気象庁HP

<https://www.jma.go.jp/jp/doshamesh>



■ 避難の方法

災害が発生しそうな時には、早めに安全な場所へ避難することが重要です。すでに避難経路が浸水しているなど、危険が迫っている状況での無理な移動は避けなければなりません。このような場合は、浸水区域や土石流、がけ崩れの警戒区域等から離れるだけでなく、近隣の高い建物や自宅の2階などの高い場所へ移動するなどの判断も必要です。土砂災害の危険性がある区域では、屋内でも山と反対側 (山からできるだけ遠い) の部屋に避難することも有効です。



危険な場所から離れる (立ち退き避難)



高所への避難 (屋内安全確保)

避難が遅れたときや、浸水等による建物倒壊の危険がないと判断される場合には、近隣建物の高層階や、自宅の2階以上へ緊急的に一時避難し、救助を待つことも検討してください。



山と反対側へ避難

土砂災害の危険性がある場合、山と反対側の2階以上へ避難します。**何よりも命を守る行動を!**

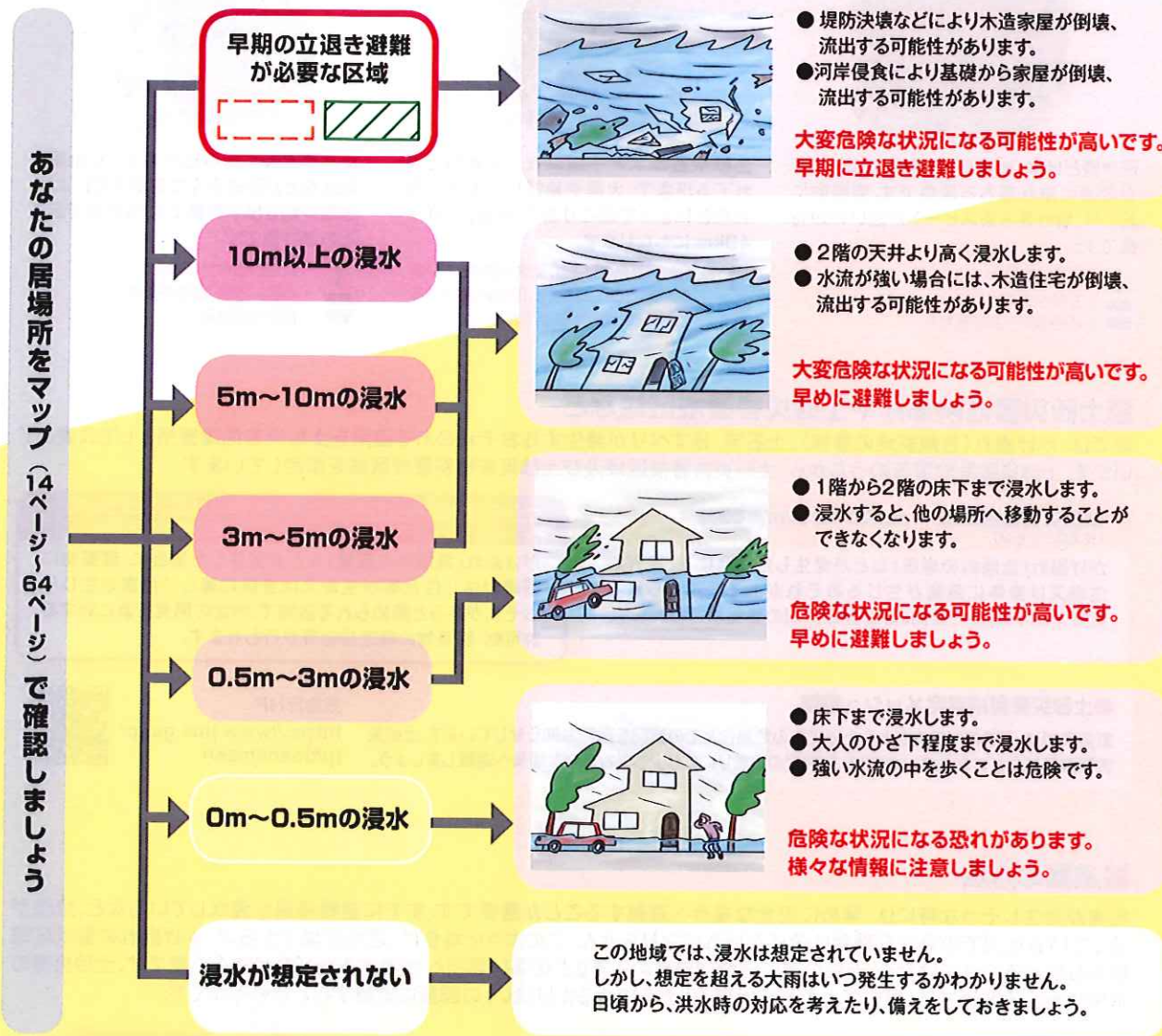
洪水時の避難行動ガイド

洪水の影響は、自宅などの条件によって異なります。市から発令される避難情報のほか、自宅などの条件に応じて、避難のタイミングや方法などを確認しましょう。

自宅の掲載	ページ
避難所の掲載	ページ

洪水の危険性の確認

自宅などの浸水深の目安を確認しましょう。



想定される被害と避難のタイミング

どのような被害が発生するか具体的に考え、避難のタイミングを確認しましょう。

避難の方法

どこへ避難するか決めておきましょう。

立退き避難(水平避難)

指定緊急避難場所、又は浸水しない安全な場所へ



気象情報や河川の水位の情報、市からの避難情報などをもとに、自らが判断して早めに立退き避難を行う必要があります。特に、高齢な方や、障害のある方など避難に時間や配慮が必要な方とその支援に当たる方々は、早めの避難行動が重要です。

Point いざというときのため、日頃から避難のしかたについて話し合っておきましょう。

連絡メモを残そう

外出中の家族には「どこどこへ避難する」といったようなメモを残しておきましょう。

安全なルートで避難

河川、水路沿い、地下道などは避け、できるだけ安全な広い道を選びましょう。

集団で避難

できるだけ単独での行動は避け、近所の人たちと集団で決められた場所へ避難しましょう。

車での避難は控えて

車は、約30cmの浸水で走行できなくなる可能性があります。できるだけ徒歩で避難しましょう。

避難が遅れた場合

万が一、避難が遅れた場合の避難方法を確認しましょう。

屋内安全確保(垂直避難)

2階以上の場所、又は危険のない近くの高い建物へ



氾濫が既に開始している場合など、指定緊急避難場所へ移動することにより、かえって命に危険を及ぼしかねない場合は、近隣のより安全な場所への避難が必要です。さらに、外出することすら危険な場合には、屋内での安全確保を考えます。

Point マンションなどを含む垂直避難の場合は、浸水が解消するまで時間がかかることもあるので、次のことも念頭に入れて行動しましょう。

水・食料の不足

備蓄していても水や食料などが足りなくなります。

ライフラインの断絶

電気、ガス、水道が止まるとともに、外部の情報を得ることができなくなります。

建物内移動の困難

マンションなどの高層建物の場合は、エレベーターが止まり、階段での移動を余儀なくされます。

医療が受けられない

病人が出たときや、体調を崩した場合の対応が難しくなります。

河川の水位と避難の目安

判断の基準となる情報をもとに、いつ避難するか決めておきましょう。

立退き避難は浸水が始まる前に開始しなければなりません。避難のタイミングは、河川の水位で判断することが有効です。河川の水位情報を確認して、決めておいた水位に達したら、避難を始めましょう。



水位情報は左下赤枠内の方法で確認できます。

水位情報の確認

地上デジタル放送(データ放送)による防災情報

NHK 総合テレビにチャンネルをあわせて、「d」ボタンを押すと、天気予報などの項目が表示されます。「防災・生活情報」→「河川水位・雨量」から、国や県の河川の水位情報が確認できます。



国管理河川の水位の確認方法(北上川のリアルタイム情報)

国管理の河川の水位とライブカメラの画像がみられます。

<http://www2.thr.mlit.go.jp/iwate/bousai/kitakami/index.html>



県管理河川の水位の確認方法(岩手県河川情報システム)

県管理の河川の水位や雨量の情報がみられます。

<http://kasen.pref.iwate.jp/iwate/servlet/Gamen30Servlet>



記入のしかた

右の例を参考に、避難の判断基準となる観測所と水位を確認しましょう。

観測所名	観測所	明治橋	太田橋	山岸
氾濫危険水位	2.8m	3.0m	5.2m	2.7m
避難判断水位	2.5m	2.6m	4.5m	2.4m

自分のいる場所の近くの観測所を確認し、「観測所名」に○をしましょう。

想定される被害に応じて、避難開始の目安となる「水位」に○をしましょう。

地震災害

自宅の掲載	ページ
避難所の掲載	ページ

地震の揺れの大きさ

「震度」は気象庁が定義したもので、それぞれの場所における揺れの強さと被害の程度を表します。

震度4	震度5弱	震度5強
<ul style="list-style-type: none"> ほとんどの人が気づく。 電灯などのつり下げ物は大きく揺れる。 座りの悪い置物が、倒れることがある。 	<ul style="list-style-type: none"> 大半の人が、恐怖を覚え、物につかまりたいと感じる。 棚にある食器類や本が落ちることがある。 固定していない家具が移動することがあり、不安定なものは倒れることがある。 	<ul style="list-style-type: none"> 物につかまらなさと歩くことが難しい。 棚にある食器類や本で落ちるものが増える。 固定していない家具が倒れることがある。 補強されていないブロック塀が崩れることがある。
震度6弱	震度6強	震度7
<ul style="list-style-type: none"> 立っていることが困難になる。 固定していない家具の大半が移動し、倒れるものもある。ドアが開かなくなることがある。 壁のタイルや窓ガラスが破損、落下することがある。 耐震性の低い木造建物は、瓦が落下したり、建物が傾いたりすることがある。倒れるものもある。 	<ul style="list-style-type: none"> はわないと動くことができない。飛ばされることもある。 固定していない家具のほとんどが移動し、倒れるものが増える。 大きな地割れが生じたり、大規模な地すべりや山体の崩壊が発生することがある。 	<ul style="list-style-type: none"> 耐震性の低い木造家屋は、傾くものや、倒れるものが増える。 耐震性の高い木造建物でも、まれに傾くことがある。 耐震性の低い鉄筋コンクリート造の建物では、倒れるものが増える。

阪神・淡路大震災では、建物の倒壊・家具の転倒などが原因で多くの方が犠牲になりました。自宅や職場などの耐震性アップが何よりも大事です。

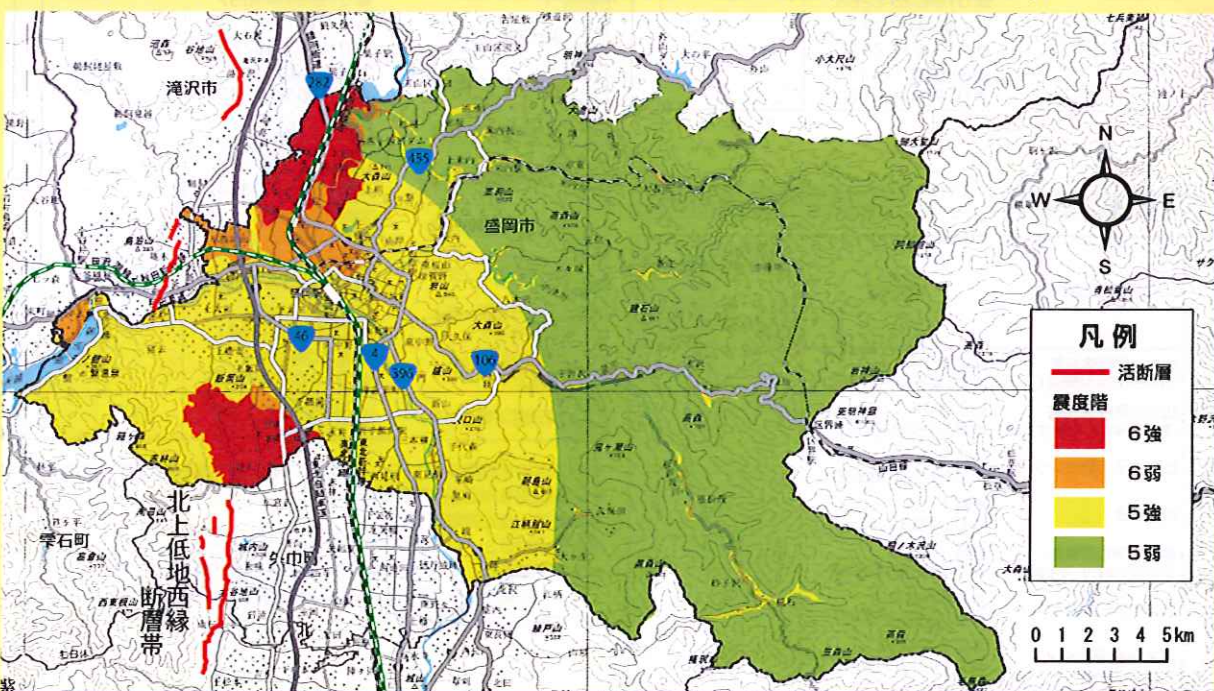
室内の安全性を高めよう

- 1 背の高い家具は倒れないように固定しよう。
- 2 ガラス飛散防止フィルムを貼ろう。
- 3 戸棚が開かないように留め金をつけよう。
- 4 倒れたときにドアや避難口を塞ぐ場所には家具を置かないようにしましょう。
- 5 家具が倒れてくる場所には寝具を置かないようにしましょう。



活断層と震度分布図

市の西側には、北上低地西縁断層帯という活断層があります。この断層により、市では最大震度6強（玉山地域では最大震度5強）の地震が発生する可能性があります。



出典：岩手県地震被害想定に関する報告書 平成10年3月 岩手県

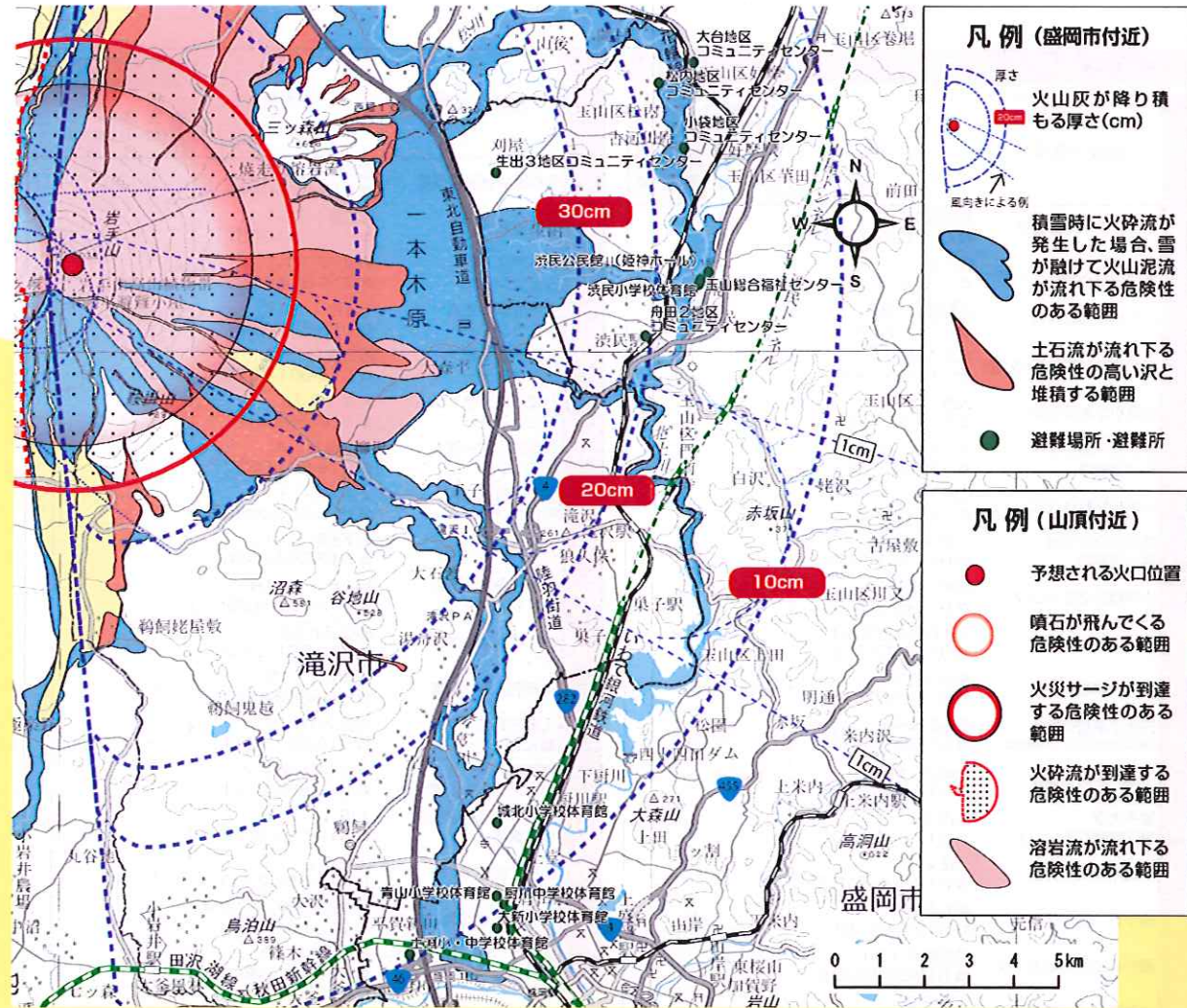
※玉山地域の分布は、玉山版の防災マップをご覧ください。

火山災害

自宅の掲載	ページ
避難所の掲載	ページ

岩手山火山防災マップ

岩手山ではマグマ噴火や水蒸気爆発が想定され、市では降灰や火山泥流の影響があります。



※風向・地形条件等で、到達する方向は変わります。図に示したすべての範囲に到達するわけではありません。

岩手山の噴火警戒レベルと盛岡市への影響

岩手山の活動状況は1～5の5段階で気象庁から発表されます。盛岡市に重大な影響が想定されるレベルは4、又は5となりますが、そのときの風向きや積雪状況などで影響の程度が変わります。

予報情報	対象範囲	レベル 【キーワード】	火山活動の状況	住民の行動	盛岡市への影響
噴火警戒	居住地域およびそれより火山口側	5 【避難】	居住地域に重大な被害を及ぼす噴火が発生、あるいは切迫している状態にある	危険な居住地域からの避難	積雪期には火山泥流が到達する可能性があります。風向きにより火山灰などが飛んできます。
		4 【避難準備】	居住地域に重大な被害を及ぼす噴火が発生すると予想される（可能性が高くなっています）	警戒が必要な居住地域での避難準備、災害時要援護者等の避難	風向きによって火山灰などが飛んできてくる可能性があります。積雪期に突発的に大きな爆発が発生したときには、火山泥流が発生することがあります。
	居住地域から近くまで	3 【入山規制】	火山口付近から居住地域の近くまで重大な影響を及ぼす噴火の発生、あるいは発生が予想される	通常の生活	噴火が発生した場合、風向きによって少量の火山灰などが飛んできてくる可能性があります。
	火山口周辺	2 【火山口周辺規制】	火山口周辺に影響を及ぼす噴火の発生、あるいは発生が予想される	通常の生活	噴火が発生した場合、風向きによって少量の火山灰などが飛んできてくる可能性があります。
	火山口内等	1 【活火山であることを注意】	火山活動は静穏	通常の生活	特に影響ありません。

避難場所・避難所の一覧

指定避難所は市が避難情報を発令した際に開設します。災害規模や状況によって開設を決定するため、全ての施設が一斉に開設されるものではありません。

Table with 5 columns: No., Facility Name, Location, Disaster Type (Flood, Earthquake, Fire, etc.), Designated Evacuation Site. Section: 中央区域 (Central Area).

Table with 5 columns: No., Facility Name, Location, Disaster Type, Designated Evacuation Site. Section: 西区域 (West Area).

Table with 5 columns: No., Facility Name, Location, Disaster Type, Designated Evacuation Site. Section: 南区域 (South Area).

Table with 5 columns: No., Facility Name, Location, Disaster Type, Designated Evacuation Site. Section: 南区域 (South Area).

Table with 5 columns: No., Facility Name, Location, Disaster Type, Designated Evacuation Site. Section: 東区域 (East Area).

Table with 5 columns: No., Facility Name, Location, Disaster Type, Designated Evacuation Site. Section: 東区域 (East Area).

※1 洪水指定施設のうち「◎」施設は、内水氾濫の指定緊急避難場所を兼ねる。
※2 要配慮者指定避難所を兼ねる。
※3 外国人指定避難所を兼ねる。
※4 洪水時は3・4・20階、地震時は市民文化ホール。
※5 使用範囲は、2～5階共有部分、岩手県国際交流センター等。
※6 視覚障害者指定避難所。

番号	施設・場所名	所在地	災害種別ごとの指定緊急避難場所				指定避難所
			洪水	土砂	地震	火事	
123	仙北児童・老人福祉センター	東仙北 1-6-27 ☎ 019-635-1190			○		○
124	見前地区公民館	津志田中央 2-9-1 ☎ 019-639-1788	○		○		○
125	都南公民館	永井 24-10-1 ☎ 019-637-6611	○		○		○
126	世代交流センター・見前児童センター	西見前 13-25-3 ☎ 019-639-0350			○		○
127	飯岡地区公民館	下飯岡 8-100 ☎ 019-637-2270			○		○
128	盛岡タカヤアリーナ (盛岡市総合アリーナ)・総合プール	本宮 5-4-1 ☎ 019-658-1212	○		○		○
129	下鹿東北近隣公園	向中野 3-34-1 ☎ 019-639-9057			○		○
130	盛岡スコール高等学校校舎2階	向中野 5-5-1 ☎ 019-636-0827	○		○		○
131	岩手県工業技術センター	北飯岡 2-4-25 ☎ 019-635-1115	○		○		○
132	ぼちかち飯岡公園	北飯岡 2-16-50 ☎ 019-639-9057	○		○		○
133	盛岡峰南高等支援学校体育館	下飯岡 11-152 ☎ 019-639-8515	○		○		○
134	盛岡工業高等学校屋外運動場	羽場 18-11-1 ☎ 019-638-3141			○		○
135	湯沢中央公園	湯沢東 1-1 ☎ 019-639-9057			○		○
136	湯沢地域交流活性化センター	湯沢西三丁目 4-14 ☎ 019-639-2510	○	○			○

東区域							
番号	施設・場所名	所在地	災害種別ごとの指定緊急避難場所				指定避難所
			洪水	土砂	地震	火事	
137	勤労福祉会館	紺屋町 2-9 ☎ 019-654-3480	○		○		○
138	城南小学校体育館	若園町 9-20 ☎ 019-623-2358	○		○		○
139	加賀野地区活動センター	加賀野 4-18-55 ☎ 019-623-0202	○	○			○
140	社陵小学校体育館	肴町 1-6 ☎ 019-623-1338			○		○
141	岩手大学附属小学校屋外運動場	加賀野 2-6-1 ☎ 019-623-7275			○		○
142	岩手大学附属中学校体育館等	加賀野 3-9-1 ☎ 019-623-4241	○	○			○
143	盛岡短期大学跡	住吉町 1-48 ☎ 019-629-5035			○		○
144	下橋中学校体育館	馬場町 1-1 ☎ 019-623-4337			○		○
145	大慈寺小学校体育館	大慈寺町 6-47 ☎ 019-623-6231			○		○
146	河南中学校体育館	茶畑 2-17-1 ☎ 019-623-2475	○		○		○
147	中野小学校体育館 (洪水時は校舎2~4階教室)	中野 2-12-1 ☎ 019-653-4302	○	○	○		○
148	岩手自動車学校自動車練習場	高崎 2-5 ☎ 019-624-4055			○		○
149	山王小学校体育館	小杉山 3-1 ☎ 019-622-2230	○		○		○
150	城東中学校体育館	東新庄 1-30-1 ☎ 019-624-1524			○		○
151	盛岡八幡宮社務所の間	八幡町 13-1 ☎ 019-652-5211	○	○	○		○
152	築川老人福祉センター	川目 10-78-1 ☎ 019-622-0742	○	○	○		○
153	浅岸小学校跡 (屋外運動場)	浅岸字上大葛 1 ☎ 019-639-9043			○		○
154	盛岡競馬場駐車場	新庄字上八木田 10 ☎ 019-651-2999			○		○

番号	施設・場所名	所在地	災害種別ごとの指定緊急避難場所				指定避難所
			洪水	土砂	地震	火事	
155	加賀野児童・老人福祉センター	加賀野 4-18-56 ☎ 019-623-0407	○	○	○		○
156	市立武道館	住吉町 3-12 ☎ 019-654-6801	○		○		○
157	大慈寺児童・老人福祉センター	茶畑 2-16-20 ☎ 019-623-0218			○		○
158	社陵老人福祉センター	南大通 1-7-5 ☎ 019-654-9155	○		○		○
159	社陵児童センター	清水町 13-34 ☎ 019-623-0465			○		○
160	川目児童・老人福祉センター	東山 1-15-1 ☎ 019-654-2193	○		○		○
161	山王児童・老人福祉センター	山王町 10-25 ☎ 019-654-6269			○		○
162	河南公民館	松尾町 3-1 ☎ 019-622-2258	○	○	○		○

南東区域							
番号	施設・場所名	所在地	災害種別ごとの指定緊急避難場所				指定避難所
			洪水	土砂	地震	火事	
163	宇津野公民館	川目 9 ☎ 019-652-8966	○	○			○
164	沢田浄水場	東中野字沢田 7 ☎ 019-654-1214	○	○	○		○
165	中野地区活動センター	東安庭字小森 57-1 ☎ 019-652-3288	○	○	○		○
166	手代森小学校体育館	手代森 22-47 ☎ 019-696-2008	○	○	○		○
167	岩手大学附属特別支援学校校舎2階	東安庭 3-4-20 ☎ 019-651-9002	○	○	○		○
168	手代森児童センター	黒川 6-12-1 ☎ 019-696-3977	○	○	○		○
169	乙部児童センター	乙部 8-3-4 ☎ 019-696-4301	○	○	○		○
170	根田茂小学校跡 (屋外運動場)	根田茂 5-35-2 ☎ 019-639-9043			○		○
171	砂子沢小学校跡 (屋外運動場)	砂子沢 10-65-1 ☎ 019-639-9043			○		○
172	都南東小学校体育館	乙部 12-16-1 ☎ 019-696-5600	○	○	○		○
173	乙部運動広場	乙部 28-34-2 ☎ 019-696-1125			○		○
174	地域福祉センター	手代森 14-16-89 ☎ 019-696-5640	○	○	○		○
175	乙部体育館	乙部 6-79-1 ☎ 019-696-2129			○		○
176	乙部地区公民館	乙部 6-79-1 ☎ 019-696-2081			○		○
177	乙部老人福祉センター	乙部 28-34-5 ☎ 019-696-1125	○	○	○		○
178	東安庭公民館	東安庭 3-10-12 ☎ 019-623-6929	○	○	○		○
179	門公民館	門 1-14-14 ☎ 019-652-4225			○		○
180	乙部中学校体育館 (洪水時は体育館2階)	黒川 21-51-1 ☎ 019-696-2611	○	○	○		○

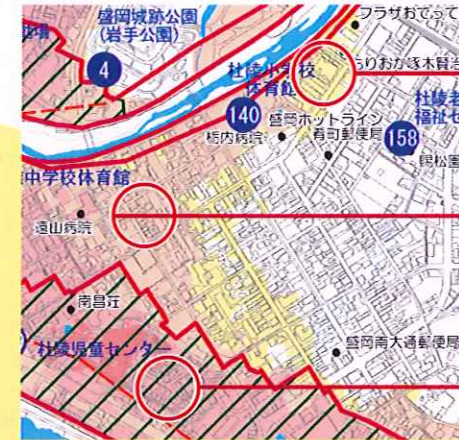
※1 洪水指定施設のうち「○」施設は、内水氾濫の指定緊急避難場所を兼ねる。

防災マップ (洪水・土砂災害)

■洪水の見方

洪水浸水想定区域、家屋倒壊等氾濫想定区域

大雨によって、北上川などの大きな河川が氾濫した場合に、浸水する区域や深さを表示しています。その大雨は2日間の総雨量が明治橋地点上流域において313mm、下流域において264mmの降雨を想定しています。



この場所は浸水深0.5m未満で、床下までの浸水する可能性があります。

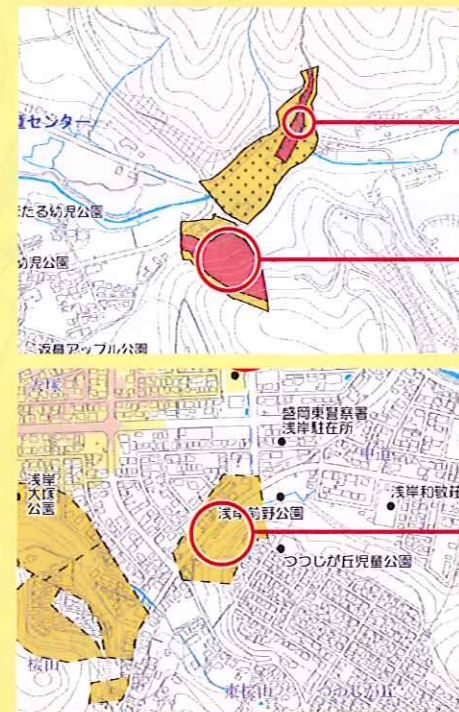
この場所は浸水深0.5~3mで、2階の床下まで浸水する可能性があります。

この場所は浸水深3~5mで、氾濫流によって家屋の倒壊の危険があり、大変危険な状況になる可能性があります。

■土砂災害の見方

がけ崩れ(急傾斜地の崩壊)、土石流、地すべり

集中豪雨などによって、がけ崩れ、土石流、地すべりなどが発生した場合に危害が及ぶおそれがある範囲を表示しています。県では、調査で判明した土砂災害危険箇所のうちから、土砂災害警戒区域及び土砂災害特別警戒区域を指定しています。



この場所は土石流の土砂災害特別警戒区域です。建築物に損壊が生じ、住民等が生命又は身体に著しい危害が生じるおそれがあると認められる区域です。

この場所は土石流の土砂災害警戒区域です。住民の、生命又は身体に危害が生じるおそれがあると認められる区域です。

この場所はがけ崩れ(急傾斜地の崩壊)の発生のおそれのある土砂災害危険箇所です。

■凡例

洪水災害

早期の立退き避難が必要な区域

- 早期の立退き避難が必要な区域 (赤線)
- 河岸侵食によって家屋倒壊等の危険がある区域 (点線)
- 氾濫流によって家屋倒壊等の危険がある区域 (斜線)

浸水深の目安

- 10.0m以上の区域
- 5.0~10.0m未満の区域
- 3.0~5.0m未満の区域
- 0.5~3.0m未満の区域
- 0.5m未満の区域

← 避難方向
⊗ アンダーパス・地下道

土砂災害

土砂災害警戒区域等

- 特別警戒区域 (赤線)
- 警戒区域 (黄線)
- 特別警戒区域 (赤線)
- 警戒区域 (黄線)

土石流 急傾斜

土砂災害危険箇所

- 土石流 (点線)
- 急傾斜 (斜線)
- 地すべり (点線)

指定緊急避難場所 指定避難所

- 指定緊急避難場所 指定避難所 (1)
- 水位観測所 (■)

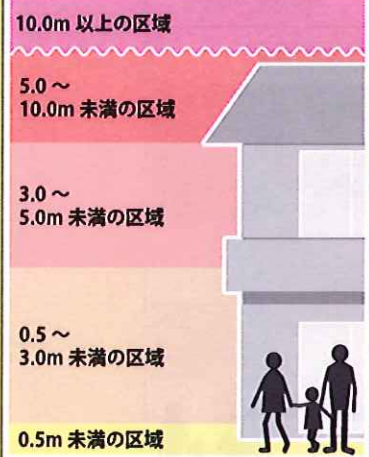
P24	P25	P26	P27
P32	P33	P34	P35
P42	P43	P44	P45

洪水災害

早期の立退き避難が必要な区域

- 早期の立退き避難が必要な区域
- 河岸侵食によって家屋倒壊等の危険がある区域
- 氾濫流によって家屋倒壊等の危険がある区域

浸水深の目安



- 避難方向
- アンダーパス・地下道

土砂災害

土砂災害警戒区域等

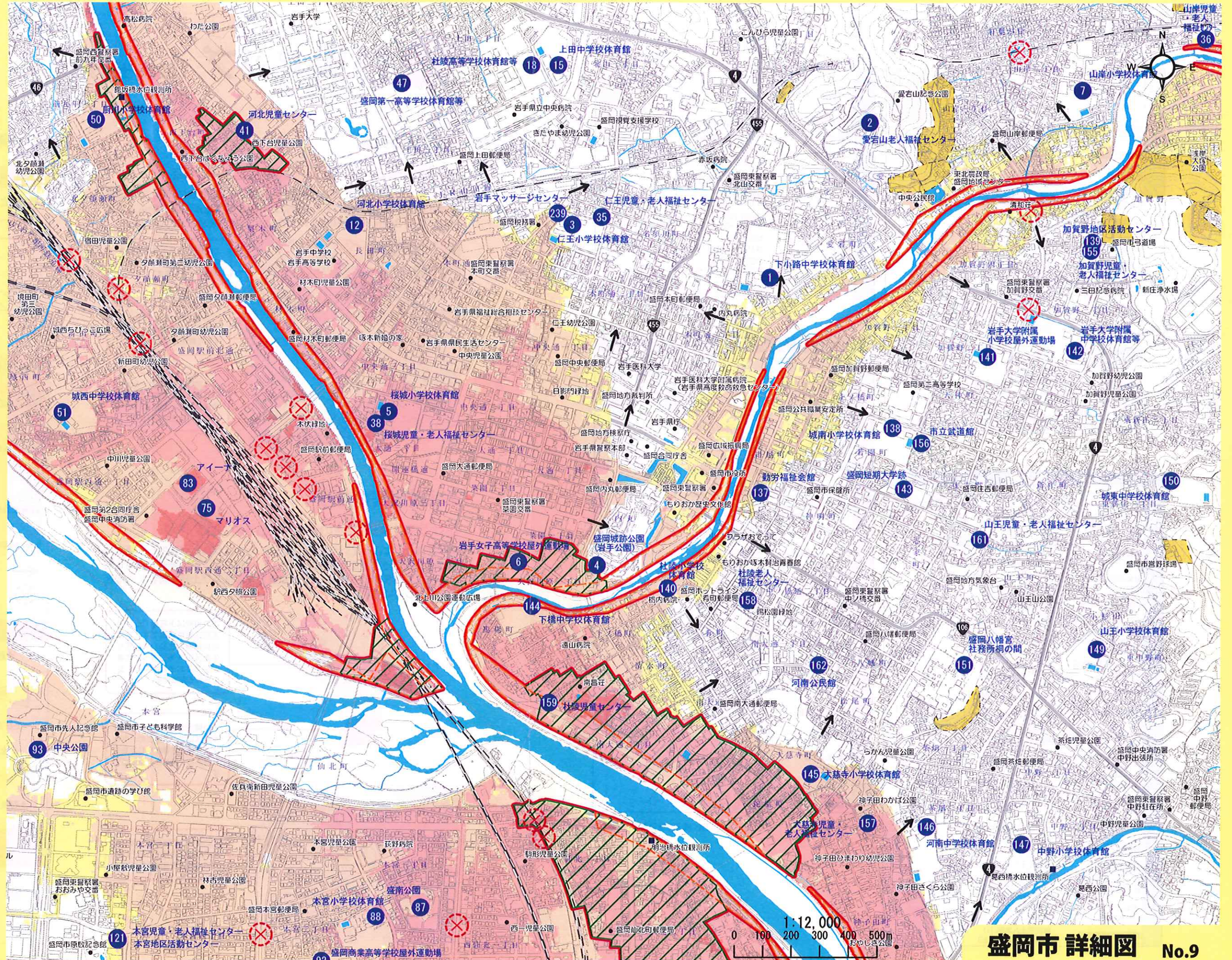
- 特別警戒区域
- 警戒区域
- 土石流
- 急傾斜

土砂災害危険箇所

- 土石流
- 急傾斜
- 地すべり

指定緊急避難場所
指定避難所




- 指定緊急避難場所
- 指定避難所
- 水位観測所



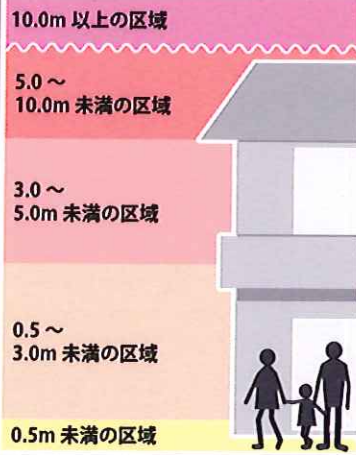
玉 47	玉 48	玉 49	玉 50
P20	P21	P22	P58
P26	P27	P28	P57



洪水災害

早期の立退き避難が必要な区域

-  早期の立退き避難が必要な区域
-  河岸侵食によって家屋倒壊等の危険がある区域
-  氾濫流によって家屋倒壊等の危険がある区域





浸水深の目安



-  避難方向
-  アンダーパス・地下道

土砂災害




土砂災害警戒区域等

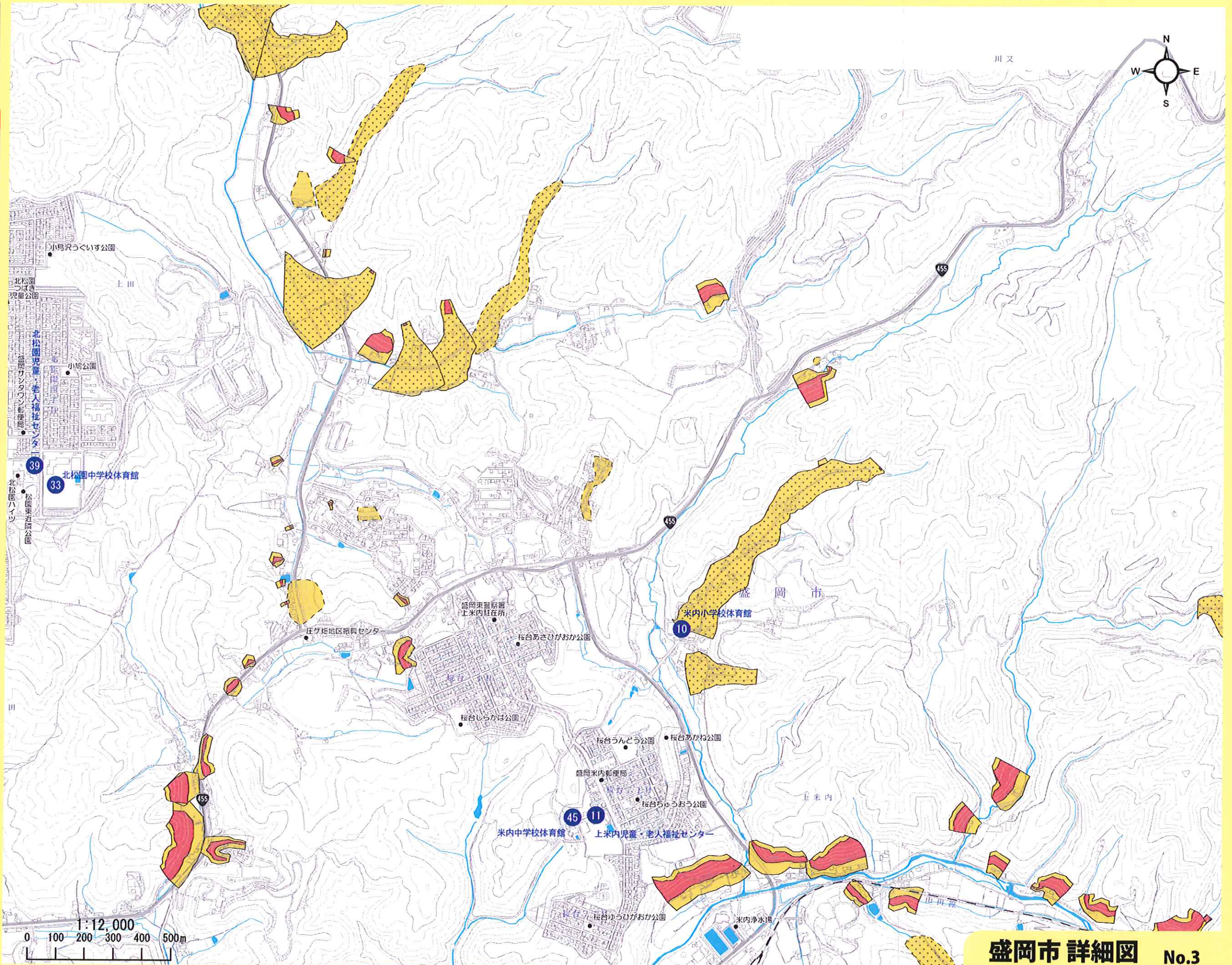
-  特別警戒区域
-  特別警戒区域
-  警戒区域
-  警戒区域
- 土石流
- 急傾斜

土砂災害危険箇所

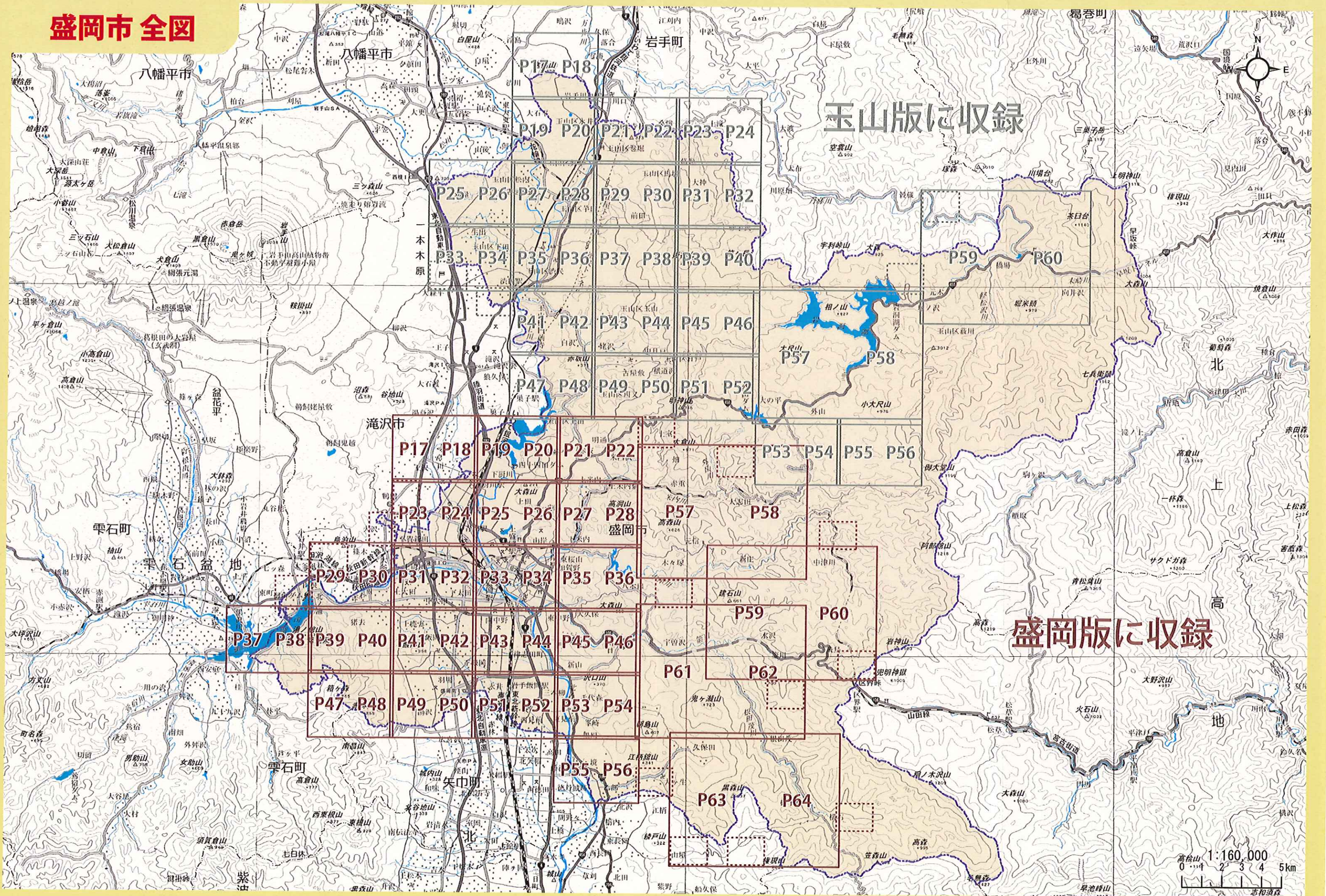
-  土石流
-  急傾斜
-  地すべり

指定緊急避難場所
指定避難所

-  指定緊急避難場所
-  指定避難所
-  水位観測所



盛岡市全図



玉山版に収録

盛岡版に収録